

## 2019年度事業及び活動報告

法人の名称 特定非営利活動法人たすけあい多摩

### 1. 事業活動の成果

元号が平成から令和へと変わった2019年度は、たすけあい多摩にとっても大きな変換の年でした。5つの柱で支えてきたたすけあい多摩が、4つの柱でそして、財政規模を30%縮小して運営していくスタートの年だからです。それは、片肺飛行で霧の中をつき進むような不安感につつまれたもので、3ヶ月目に振り返り、6ヶ月経ったと振り返りして、数字を出してみるものの、比較する数字がないため、危機を示すものかどうかの判断がつかないまま、上半期は静かに淡々と過ぎました。

しかし、7月に入ると「働き方改革」が叫ばれ、10月には最低賃金が引き上げられて、下半期は一転して横風にあおられ、更に、年度終盤へきて、“新型コロナウイルス”という思ってもみなかった大風雨におそわれ、対応に苦慮することとなりました。

「働き方改革」の中の1つ「有給休暇の義務化」は、年10日以上の有給休暇が付与される者には、年5日間の年次有給休暇の付与が企業に義務づけられる、というもので、この改革は今年度からの実施をせまるものでした。そこで、該当者に周知徹底し、確実に実施することができました。

10月には、消費税が10%に引き上げられたと同時に、最低賃金が、983円から1,011円に引き上げられました。これまでキャンセル手当や実働研修などは、最低賃金に合わせて設定されていきましたので、引き上げと同時に、料金(1,000円)と賃金(1,011円)が逆転することとなり、変更せざるを得ず、全体を見通した料金・賃金設定を検討した上、改定し、利用者様へ値上げのお願いをしました。

下半期に入り、予算計上外の支出が嵩み、今年度は赤字決済になると予想されましたが、給与・会計を担っているPC機器が、今年でサポート終了となるWindows 7に対応するもので、不安材料でした。いずれ買い換えなければならないため、覚悟の上、新しい機器を導入しました。それでも、かろうじて黒字決済することができ、ホッとしています。

そして、現在も最大の懸念材料となっている新型コロナウイルスへの対応として、2月下旬厚生労働省からの事務連絡を受け、咳エチケットと手洗いの徹底・毎朝の検温による自己管理をお願いするメールを会員に配信しました。しかし、その後驚異的な勢いで世界中に拡大していく様を目の当たりして、最も恐れるべきことは、自分自身が知らないうちに利用者宅にウイルスを持ち込んでしまうことだと認識を強くしました。そこで、3月には、入室前の手指の消毒とマスクの着用を義務づけ、消毒剤とマスクの配布をお知らせしたところ、すでに用意、実践しているヘルパーが多く、意識の高さに感心させられました。

財政的基盤が盤石とは言えないたすけあい多摩が、どう乗り越えたのか、そして問題点や課題は何かをしっかりと把握しておくことが、これからの運営に必要なことと考えます。

70%に縮小という予測通り、総収入は昨年度の70%、総支出は71%でした。事業別に見てみると、自主・訪問・障害とも、昨年度をわずかに上回るだけで、ほぼ横ばいでした。しかし、上半期に比べ下半期の落ち込みに対しては、以後の推移を注意深く見守らなければなりません。

自主事業では、訪問事業との連携のおかげで、時間数がわずかに増えました。年度当初、新たな分野の利用者を開拓しようと意気込んでいましたが、知っていただくことの難しさと入会時にかかる費用（8,000円）に躊躇される方が多いことを再認識させられました。

“ちょっと困ったとき気軽に声をかけてください”という呼びかけに合った手立てと料金システムを根本から検討していく必要があります。

訪問事業の2月の落ち込みの要因は、重度の利用者の毎日利用や複数回利用が休止したためです。重度に限らず、1人の利用者に対し複数のヘルパーを配置することで、利用者、ヘルパー双方の都合に柔軟に対応できます。サ責が安心して新規ケースの受け入れや重度の方へ頻度の高いサービスを入れることも可能になっていくと思います。

サービス提供責任者（サ責）の3人体制が軌道に乗り、現在110人／120人（最大受け入れ可能人数）となり、受け入れ枠に少し余裕があるため、更なる充実が期待できます。

次に人件費については、事業収入の86%をこえました。これは予算に計上されていなかった有給休暇への手当と、最低賃金値上げに伴う料金等の改正の影響と言えます。

有給行使率は今年度は31%（31万円）でしたが、今後、権利の行使100%を見込むと、2倍以上の予算の見積りが必要となります。

最後に、事務管理費は昨年度の66%で70%以下におさえられました。昨年度はPC2台、今年は1台と、事務機器の換え時に加え、制度が改定される度に介護ソフトを改めなければならず、運営上不可欠な支出でした。今後しばらくは、この態勢で維持していけると思います。人件費の増大が財政を圧迫していくことが予想されます。人件費と収入のバランスを考えることが最重要課題であると思います。

今期は不安に満ちたスタートではありましたが、4つの柱それぞれがしっかりと役目を果たし、乗り越えてきたことは評価できると思います。また、3人の有資格者（うち1人は新人）が増え、心強い仲間が加わったことも喜ばしいことです。ボランティア活動でも新しいメンバーが加わり、活動が多彩なものになっています。

しかしながら、来期は更に困難な状況の中での船出となります。新型コロナウイルスによる収束の見えない事態に稼働のキャンセルや休止はいや応なく増え、減収が見込まれます。自宅待機や濃厚接触者などへの対策に頭を悩まされ、模索する日々が続きます。30年の歴史を刻んできたたすけあい多摩が、この危機の後も存続していかれるかどうかは会員の皆様の身を切るような覚悟で決まるのではないかと思います。困難な時こそ、更なる秘めた力を発揮し、1人1人意識を高く持って乗り切りましょう。

## 2. 事業活動内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ①家事援助及び介護援助に関する事業

##### 自主に関する事業

- ・内 容 介護保険事業外の高齢者及び一般家庭への家事一般・保育等に対し、ヘルパーを派遣
- ・日 時 2019年4月1日～2020年3月31日
- ・場 所 川崎市多摩区とその近隣
- ・従 事 者 ヘルパー延べ人数 187名
- ・対 象 者 利用者 延べ人数 414名  
(利用者：入会5名 退会9名 復活2名 現在48名)
- ・稼働時間 年間 2,011時間
- ・事業費支出額 3,646,830円

#### ②訪問介護及び介護予防訪問介護及び第1号訪問事業に関する事業

- ・内 容 訪問介護・介護予防訪問介護及び第1号訪問事業によるヘルパー派遣
- ・日 時 2019年4月1日～2020年3月31日
- ・場 所 川崎市多摩区内
- ・従 事 者 ヘルパー延べ人数 380名
- ・対 象 者 利用者 延べ人数 1,159名
- ・時 間 数 年間 8,961時間
- ・事業費支出額 28,826,491円

#### ③障害福祉サービスに関する事業

- ・内 容 居宅介護によるヘルパー派遣事業
- ・日 時 2019年4月1日～2020年3月31日
- ・場 所 川崎市多摩区内
- ・従 事 者 ヘルパー延べ人数 125名
- ・対 象 者 利用者 延べ人数 76名
- ・時 間 数 年間 918.75時間
- ・事業費支出額 1,630,228円

④この法人が行う事業に関する相談・研修・啓発に関する活動

(内部研修報告)

実施日	内容	講師	出席者 (名)
6/29	法令遵守・接遇と プライバシーの保護	研修担当	20
9/28	認知症の理解と対応	渡部純子氏	23
12/15	感染症と食中毒	伊藤敏江氏	21
2/16	特段調理	研修担当	12
合計	研修4回開催		76

(外部研修報告)

実施日	内容	講師	出席者 (名)
6/20	高齢者の心身の特徴と 高齢者に多い疾病	かわさき障害者 福祉施設たじま 係長 三橋 由佳氏	2
8/9	ヨガ	松澤 康代氏	5
9/18	オムツ交換	日本クレシア株式会社 課長 高橋 篤氏 佐藤 綾氏	9
9/26	薬について	多摩区薬剤師会 岩出 信幸氏 吉澤 八千代氏	6
11/25	管理者・サ責の座談会		2
合計	研修8回開催		24

【ボランティア活動】

・内 容	特別養護老人ホーム「多摩川の里」で活動、交流	
	カフェ (毎月第1, 3金曜日) ボランティア参加延べ人数	112名
	刺し子とぬりえ (毎月第4火曜日他) //	46名
	うたう会 (毎月第3木曜日) //	87名
	シーツ交換 (第5火曜日) //	20名
・従事者	会員及びボランティアを含む 延べ人数	265名
・対象者	特別養護老人ホーム「多摩川の里」の入所者	
・活動費支出額		21,560円

⑤独居高齢者支援に関する活動（飯室会館わくわく茶話会・ミニデイ津野田）

高齢者に外出する機会を作り、地域のふれあいの場として歓談・昼食・レクリエーションなどをして有意義な時間を共有しました

【 飯室会館わくわく茶話会 】

開	催	10回（毎月第3水曜日、8月休み 3月新型コロナウイルス感染症予防のため中止）
会	場	飯室会館
利用者延べ人数		141名（平均14名）
ボランティア延べ人数		73名（平均7名）
活動費支出額		131,000円（川崎市よりの助成金131,000円）

【ミニデイ津野田】

開	催	10回（毎月第4日曜日、8月お休み 3月新型コロナウイルス感染症予防のため中止）
会	場	たすけあい多摩 事務所
利用者延べ人数		66名（平均6名）
ボランティア延べ人数		55名（平均5名）
活動費支出額		0円